

「県障がい者スポーツ協会」設立記念式典で披露された車いすのダンス。25日、県庁1階県民ホール



情報発信 参加盛んに

県障がい者スポーツ協発足

読んで
広がる
NIE

障がいのあると仲里進選手(ウィルチエアー人たちのスポーツラグビー)の激励会も開き、会場から期待の拍手が送られた。

県民ホールで約130人を招いた設立記念式典が開かれた。身体、知的、精神障がいの各団体の関係者、与世田兼稔副知事が設立を祝い、協会の発展を願った。

上与那原選手は「最後まであきらめずに頑張りたい」、仲里選手は「沖縄に元氣と勇氣、感動を届けたい」と力強く語った。

式典で車いすシンガーの謝花伊早武さんが独唱したほか、車いすのダンスが披露された。同協会は障がい、福祉関係の12団体と1個人でつくり、情報発信やスポーツ施設のバリアフリー化に取り組む。

ロンドン2012パラリンピック競技大会に出場する上与那原寛和選手(車いす陸上)